

2024 年度
(令和 6 年度)
事 業 報 告

社会福祉法人 悠久会

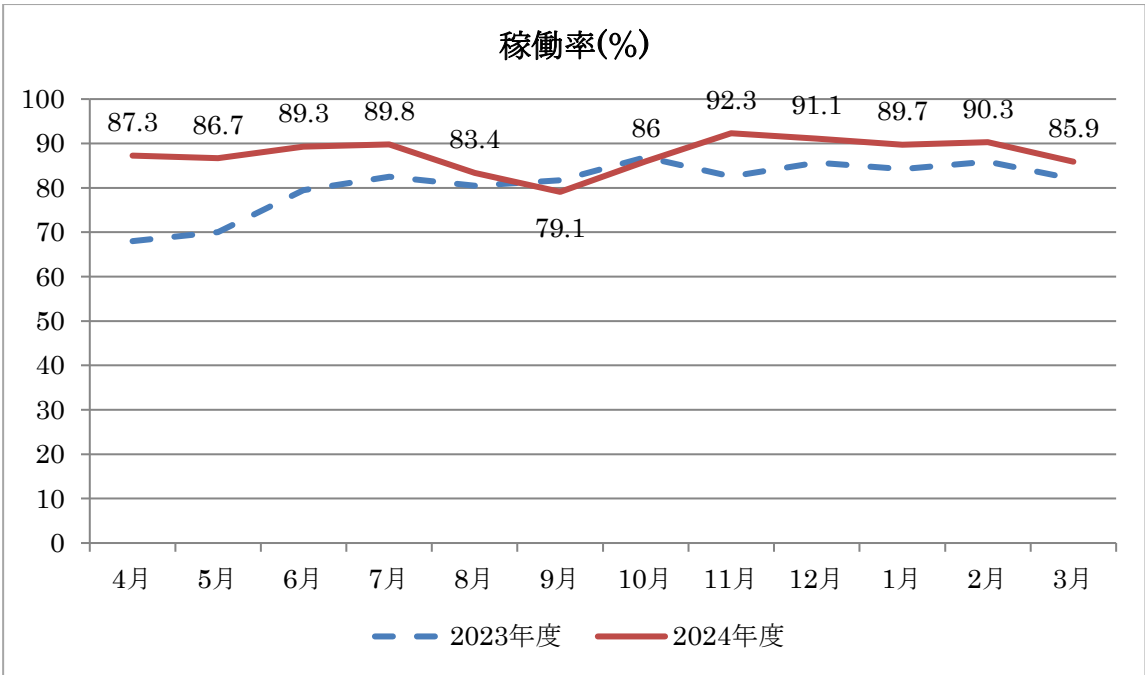
事業別概要

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城
2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 短期入所生活介護
3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城
4. 八千代城デイサービスセンター
5. グループホーム悠々やちよ
6. ケアハウス青空
7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 長期入所 定員 68 名

(1) 稼働状況

年月	2024 年(令和 6 年)									2025 年(令和 7 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	1781	1828	1822	1893	1760	1614	1814	1884	1921	1891	1721	1812
100 % 時	2040	2108	2040	2108	2108	2040	2108	2040	2108	2108	1904	2108



年間平均稼働率 87.19% 前年度比 +5.34%

- ・年間入所者数 30 名 ・年間退所者数 32 名(前年度入所 44 名 退所 31 名)
- ・平均要介護度 3.58

○今年度より更なる稼働向上に向けて新規入所候補者への連絡等担当職員を追加配置したことの効果もあり、退所者が生じた際の動きが以前よりも早くなった。それにより稼働率が 90%を超える月もあった。

○8 月終わりに施設内で新型コロナウイルス感染者が発生し入院者が増加又新規受け入れを一時的に停止したためその時期は稼働が低下した。
ただ隔離等の対応が早かったこともあり少人数の感染で止めることができた。
前々年度や前年度のような大人数のクラスター時のような長期に渡る大きな稼働の低下にはならなかった。

○年間延べ入院者数 1,567 人(前年度 2,453 人)
大規模クラスターの発生がなかったことや看護職員の補充により早期受診の

対応ができたことなどから延べ入院者数は前年度より少なかった。

（２）報告事項・課題点等

①感染症関連

- ・ 8 月末施設内での新型コロナウイルス感染者発生。少人数の感染で止める。インフルエンザの施設内感染はなかった。
- ・ 12 月～3 月にかけて肺炎での入院者が急増した。看護職員からの助言もありエアコンフィルターの清掃を実施。関連性は定かではないが清掃後、肺炎罹患者は減少した。
今後定期的なエアコンフィルターの清掃は必要だが、現場職員の不足もあり対応の検討が必要。
- ・ 面会については 9 月から予約不要の形へと戻した。

②事故等

- ・ 転倒・転落による骨折事故 3 件あり（行政機関へ報告済）
- ・ その他軽微な事故・ヒヤリハットは多数あり

③八千代市介護保険相談員来苑時の対応について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大以降利用者との面談は控えていただいていたが、12 月より面会室にて 2～3 人ずつ面談していただくようにした。

④職員配置について

- ・ 依然として介護職員数の不足は続いている。特に夜勤の可能な職員数が不足。日中帯も不足している日が増えている。
- ・ 看護職員は人数の確保はできたが、定着が悪く、年度を通じて入れ替わりが多かった。また派遣職員の割合も多く人件費負担が大きかった。

⑤研修について

- ・ オンライン研修を実施。基準上必要な研修は満たすことができた。
- ・ 11 月外部講師による「認知症に関する研修会」を実施。
- ・ 消防本部にて救命救急講習を介護職員が順次受講（次年度も予定）。

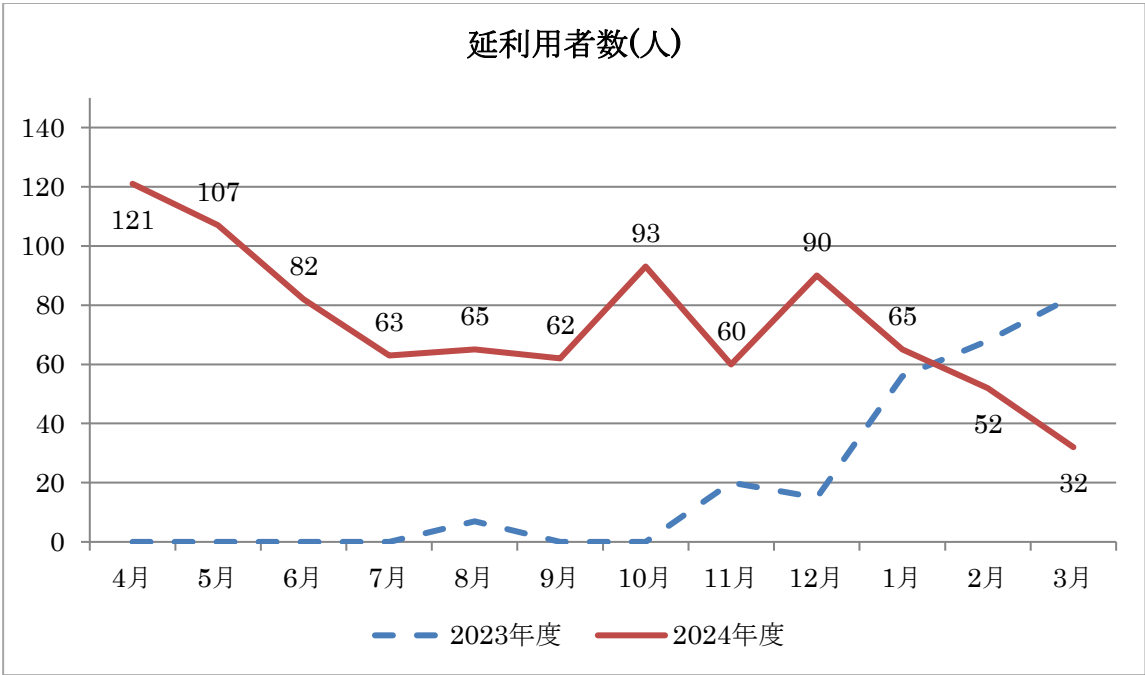
⑥その他

- ・ 本館ナースコールの壊れた部品が製造中止で交換できなくなっている物がある。今後故障した場合には修理はできず、入れ替えが必要な状況である。
- ・ 利用者のマイナンバーカードの取り扱いについて検討が必要になってくると思われる。医療保険証の紐づけを行う利用者が増えてくると想定される。

2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 空床型 短期入所

(1) 稼働状況

年月	2024 年(令和 6 年)									2025 年(令和 7 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	121	107	82	63	65	62	93	60	90	65	52	32



- ・年間延べ利用者数 892 名 (前年度 249 名)
- ・平均要介護度 2.92

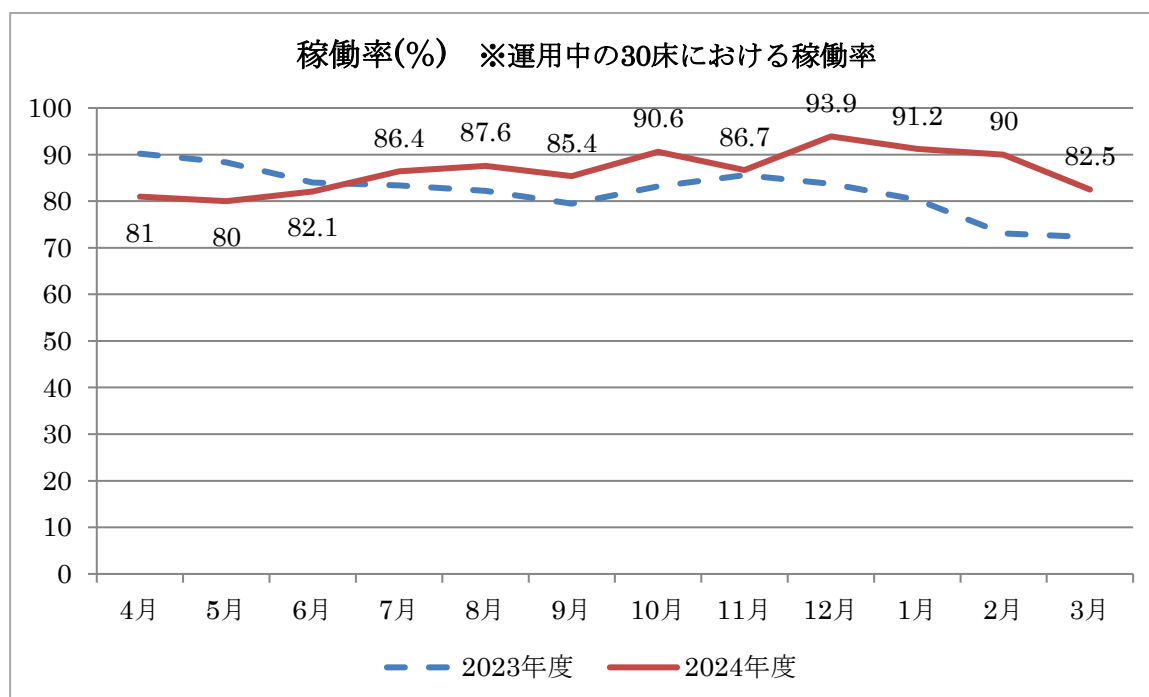
○長期入所において常時入院者が発生している状況もあり、今年度も空床型短期入所の運用を継続。

○次年度以降も運用を継続していく。空床型であるため運用管理は気を付けて行う必要がある。

3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城 定員 45 名

(1) 稼働状況 ※職員数不足により 45 床中 30 床のみ運用中

年月	2024 年(令和 6 年)									2025 年(令和 7 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	729	744	739	804	815	769	843	781	874	849	756	768
30 床満床時	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930
45 床満床時	1350	1395	1350	1395	1395	1350	1395	1350	1395	1395	1260	1395



年間平均稼働率 86.49% 前年度比 +4.28%

- ・年間入所者数 12 名 ・年間退所者数 8 名 (前年度 入所 5 名 退所 8 名)
- ・平均要介護度 3.50

○今年度より更なる稼働向上に向けて新規入所候補者への連絡等担当職員を追加配置したことの効果もあり、退所者が生じた際の動きが以前よりも早くなった。それにより稼働率が 90%を超える月もあった。

○5 月に新型コロナウイルス感染者が 5 名発生するも施設内療養で回復する。ただ新規受け入れ等を中止せざるを得なかったこともありその時期は稼働がやや低下した。

○年間延べ入院者数 412 人(前年度 552 人)

大規模クラスターの発生がなかったことや看護職員の補充により早期受診の対応ができたことなどから延べ入院者数は前年度より少なかった。

(2) 報告事項・課題点等

①感染症関連

- ・5月に施設内で新型コロナウイルス感染者発生。5名と少人数で止めることができた。症状も入院はせず施設内療養で済む程度であった。
- ・インフルエンザの施設内感染はなかった。
- ・面会については9月から予約不要の形へと戻した。

②事故等

- ・転落による裂傷で受診1件あり(行政機関へ報告済)
- ・その他軽微な事故・ヒヤリハットは多数あり

③八千代市介護保険相談員来苑時の対応について

- ・新型コロナウイルス感染拡大以降利用者との面談は控えていただいていたが、12月より面会室にて2～3人ずつ面談していただくようにした。

④職員配置について

- ・依然として介護職員数の配置に余裕がなく、行事等の企画があまりできなかった。
- ・看護職員は人数の確保はできたが、定着が悪く、年度を通じて入れ替わりが多かった。また派遣職員の割合も多く人件費負担が大きかった。

⑤研修について

- ・オンライン研修を実施。基準上必要な研修は満たすことができた。
- ・11月外部講師による「認知症に関する研修会」を実施。
- ・消防本部にて救命救急講習を介護職員が順次受講(次年度も予定)。

⑥その他

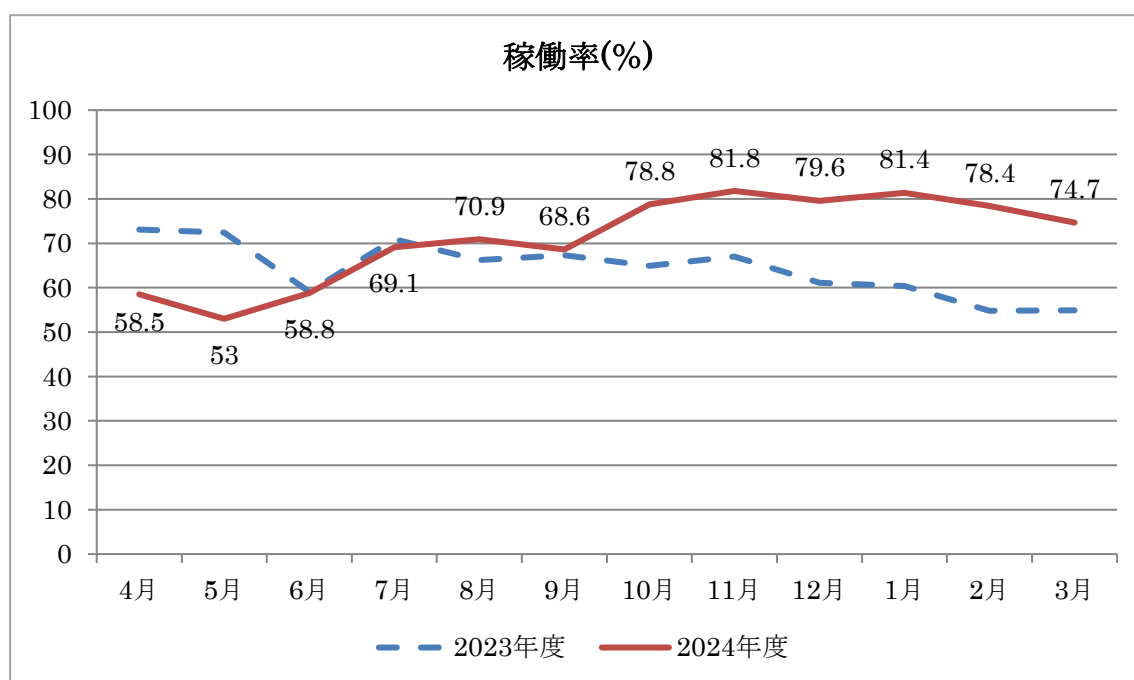
- ・新館も開設から13年程度経過しており、設備の劣化が進みつつある。計画的に設備更新を検討していく必要がある。
- ・利用者のマイナンバーカードの取り扱いについて検討が必要になってくると思われる。医療保険証の紐づけを行う利用者が増えてくると想定される。
- ・スマートフォンの持ち込みを希望される入所者が増えてきている。確認事項の説明を行い、預かりで対応している。

4. 八千代城デイサービスセンター

定員 18 名/日

(1) 稼働状況

年間営業日数	308 日
延べ利用者数	3,938 人
100%稼働時延べ利用者数	5,544 人
1 日あたり平均利用者数	12.7 人
年間稼働率	71.03%
平均要介護度(2025 年 3 月)	要介護 1.0
登録利用者数 (2025 年 3 月現在)	30 名



- ・ 年間平均稼働率 71.03% 前年度比 +6.58%
- ・ 新規利用者数 21 名 利用廃止者数 15 名 (前年度新規 13 名 廃止 17 名)

○前年度後半は稼働が 50～60%台とかなり悪かったが、今年度はそこから徐々に上げていくことができた。

○新規受け入れもほぼ毎月あった。

○当法人の在宅介護支援センターからのケース 19 件
他法人からのケース 26 件

○老々介護世帯の方や独居の方の依頼が多くなってきている。デイサービス利用中のケアのみではなくちょっとした生活のサポートも担当ケアマネージャー等

と連携しながら行うよう努めている。そのようなサービスは新規利用者獲得にもつながる場合がある。

○年度途中で他事業所とつながりのできていた相談員が退職した為、次年度新たな相談員が積極的に営業活動を行い関係を構築していく必要がある。

(2) 報告事項・課題点等

○広報活動

- ・ SNS による発信や広報誌の発行などがここ数年ほとんどできていない。職員配置に余裕もなく今後の課題である。

○事故

- ・ 医療機関を受診した事故 1 件(転倒骨折)
- ・ ヒヤリハット・医療機関受診を要しなかった軽微な事故 5 件
- ・ 認知症のある利用者が増えてきている。事故防止や日々のケアのために対応方法等について再度研修により再確認していく必要がある。

○苦情等

- ・ 苦情 1 件(ご家族との連絡について)

○行事等

- ・ 今年度よりしばらく休止していたボランティアの受け入れを再開した。
- ・ 次年度はより色々な行事を再開する方向で検討している。
- ・ 数年ぶりにおやつ外出を実施することができた。利用者の皆様は大変喜ばれていた。

○感染予防対策

- ・ 手指消毒等基本的な感染対策は継続。

○運営推進会議

- ・ 集合・対面の形で実施。(2 回)

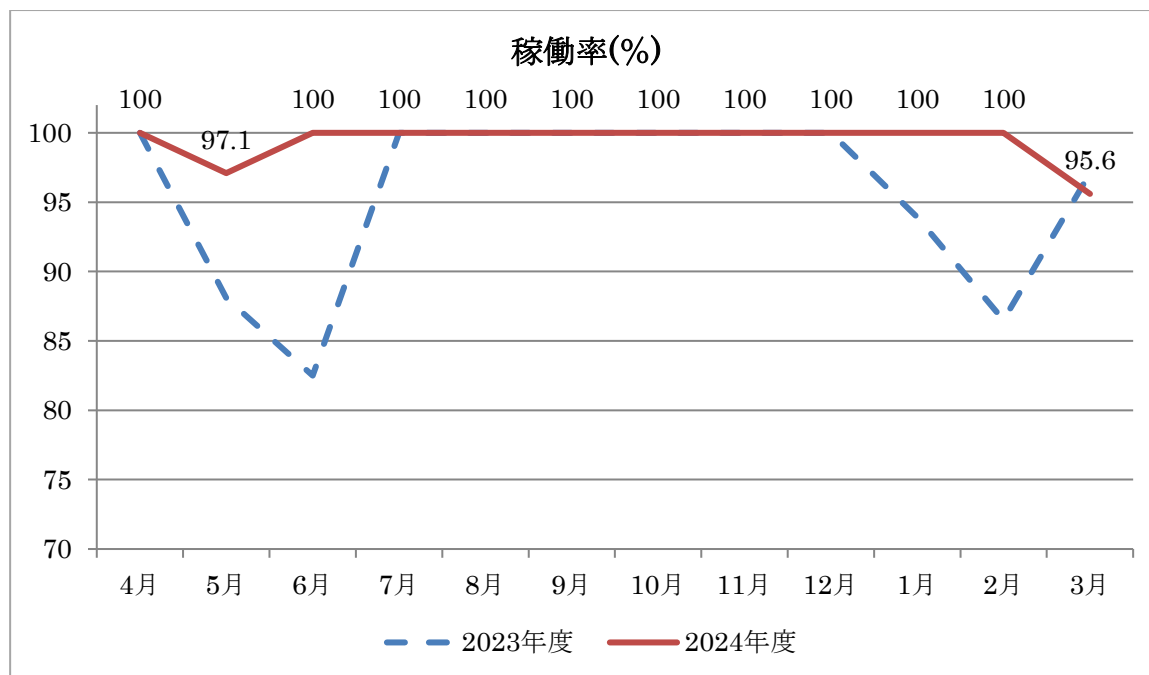
○実習生受入

- ・ 介護等体験実習生 6 名受入
- ・ 社会福祉士養成実習 2 名受入
- ・ ワクチン接種確認・健康チェック等感染予防を実施しての受け入れを行う。

5. グループホーム悠々やちよ 定員 9 名

(1) 稼働状況

年月	2024 年(令和 6 年)									2025 年(令和 7 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用 者数	270	271	270	279	279	270	279	270	279	279	252	267
100 % 時	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279



年間平均稼働率 99.39% 前年度比 +3.65%

- ・入居 2 名 退居 3 名 (前年度 入居 5 名 退居 5 名)
- ・平均要介護度 2.09 (前年度 2.17)

○退居理由

- ・経済的負担軽減 (併設特養へ)
- ・医療管理が必要 (老健)
- ・市外施設入所準備 (居宅)

○退居3名あるも、それぞれの退居後速やかに新規ケースの入居が行えたので、稼働の落ち込みは短期間で解消できた。

○入居の相談・問い合わせは年間で 22 件あり。
申込は 6 件あり。

（２）報告事項・課題点等

○入居者状況

- ・平均要介護度は前年より多少軽度になっている。
- ・今年度は新型コロナウイルス等の集団感染の発生はなかった。

○活動・レクリエーション等

- ・感染対策に留意しながらご家族との面会・外出・外泊を行なっていただいた。

○職員状況

- ・入職・異動等により概ね必要な人数を確保することができた。有給休暇取得もできている。
- ・離職等ないように引き続き職場環境の整備に努めます。

○事故等

行政機関への報告を要するような事故はなかった。
医療機関受診を要しない転落・転倒などの事故は複数件あり。

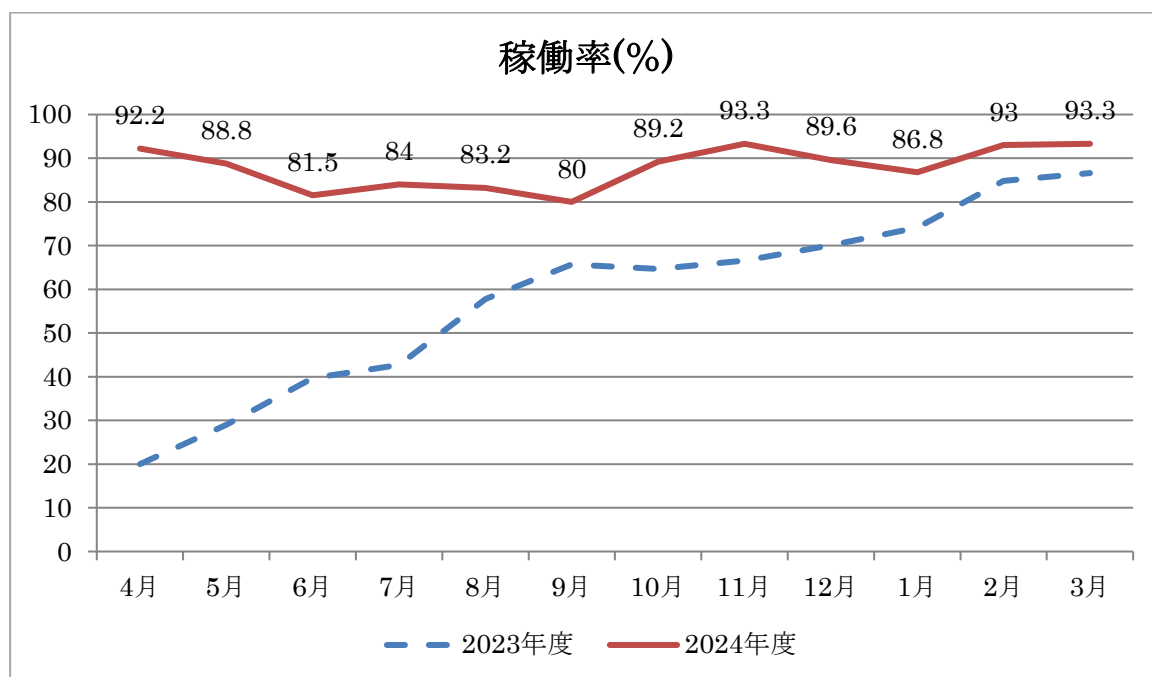
○その他報告事項

- ・運営推進会議…集合にて実施した。（６回）
- ・法定研修については計画に基づきオンラインにて実施。
- ・実習生受入 社会福祉士養成 ２名
- ・消防訓練、業務継続計画訓練、大規模停電想定訓練実施

6. ケアハウス青空

定員 15 名

(1) 稼働状況



年間平均稼働率 87.92% 前年度比 +29.4%

入所 5名 退所 4名 (前年度 入所 12名 退所 2名)

2025年3月末現在 入居者数 14名

- ・前年度より新規入所者受け入れ体制等を見直す。また外部紹介会社の活用などの効果があり、年度内に入居相談が複数あり、そのうち入居に繋がったケースが5件あった。
- ・満床になりそうなタイミングで退居者が生じることが度々あり、年度を通して満床になることはなかった。
- ・今後は待機者の確保・サービスの質の向上など上昇した稼働率を維持していくことが課題。

(2) 報告事項・課題点等

○職員状況

- ・生活相談員1名 介護職員2名体制
- ・年度途中異動による介護職員1名入れ替わりあり。

○行事・レクリエーション等

入居者の気分転換も兼ね季節に応じた外出行事などを行うことができた。

また、施設内におけるレクやクラブ活動なども随時実施。

- ・買物ツアー
- ・花見外出（あじさい・桜など）
- ・美術展等実施

入居者数増加に伴い興味・好みが多様化してきているので、バリエーションを増やすなど検討する必要がある。

○実施サービス等

- ・職員による通院送迎・付添実施
- ・職員・外部ヘルパーによる軽介護
- ・外部ホームヘルパー利用者数 5名(年間実人数)
- ・デイサービス利用者数(当法人・外部) 7名(年間実人数)

○感染症状況

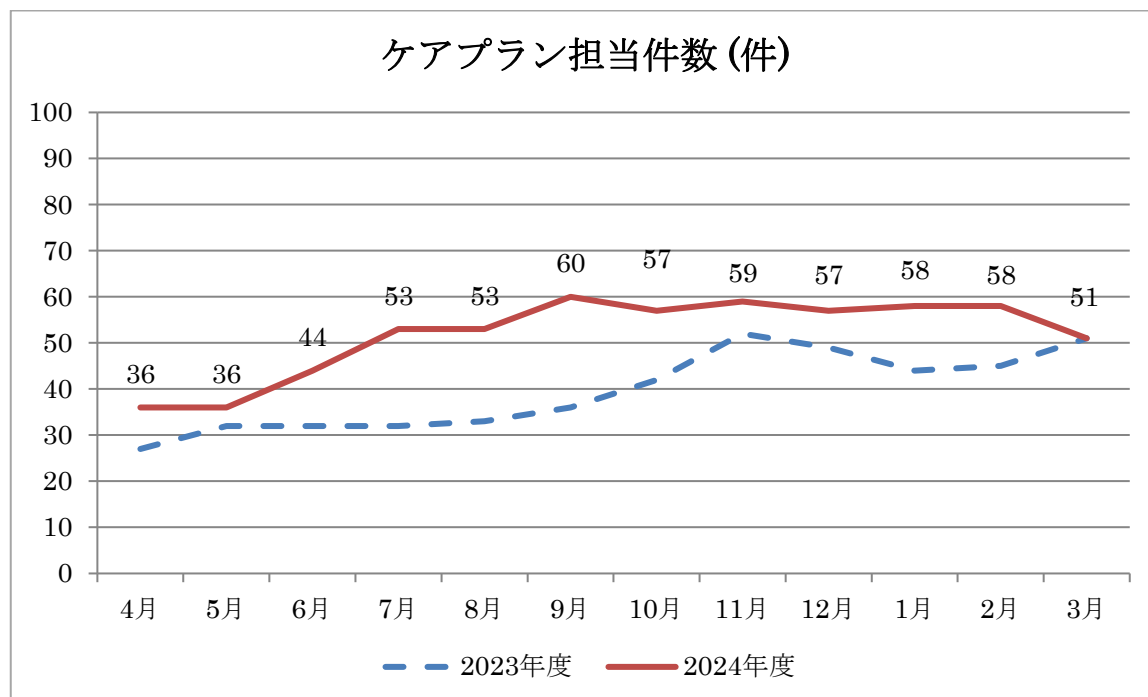
- ・2024年8月～9月 新型コロナウイルス陽性 入居者2名
入院はせず施設内での療養。重症等にはならずに治癒する。

○課題等

- ・入居者数が増えるに伴い、入居者間のトラブルや入居者と職員間でのトラブルが増えてきている。都度相談員等が介入し対応に努めている。
- ・接遇見直しの為、研修を行う必要がある。

7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城

(1) 稼働状況 (※国保連請求件数より)



- ・今年度初めより介護支援専門員2名体制となる。1名が4月に入職したこともあり、徐々に担当件数を増やした。
- ・新規依頼がそれ程多くなく、想定した程担当件数を伸ばすことができなかった。
- ・認定調査については積極的に受けるようにし、件数を伸ばすことができた。
(前年度 31 件 今年度 82 件)

(2) 報告事項・課題点等

○八千代市による実地指導
今年度実施なし

○各種研修会・交流会の参加に努め、ケアマネジメントの質の向上や地域交流につなげることができた。

○以前関りのあったケースから苦情1件あり。

(従来型) 特別養護老人ホーム八千代城

1. 従来型特養について

- ①延べ利用者数及び稼働率（介護報酬算定実施人数による。入院者・外泊者等除く。含む措置）

※延べ利用者数には空床型短期入所利用者数を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	1,802人	1,935人	1,916人	1,956人	1,825人	1,676人
稼働率	88.3%	91.8%	93.9%	92.8%	86.6%	82.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	1,907人	1,944人	2,011人	1,956人	1,773人	1,844人
稼働率	90.5%	95.3%	95.4%	92.8%	93.1%	87.5%

2023年度年間平均稼働率 81.9% 2024年度年間平均稼働率 90.85%
(+8.95%)

- ・2024年度はインフルエンザ感染者無し。新型コロナ感染者が8月末に発生するも隔離等の対応が早急に実施できたことで、少数の入院で収束。結果、昨年度のような多くの入院者を出すことなく、稼働率低下を防ぐことができた。
- ・看護職員が増え、体調不良入所者が出た場合の早期受診率が上がり、長期入院者が昨年度に比べ減少。また、退院時の日程調整もスムーズに行えるようになったことで稼働率低下を防ぐことができた。
- ・褥瘡予防や感染予防など現場職員の的確な対応により重症化を未然に防ぐことができていて稼働率低下を防ぐことができています。
- ・入院の主な原因が肺炎である。12月～3月の間で急激に肺炎での入院が増えた。看護職員からのアドバイスもあり、エアコンフィルターの掃除施行。それが原因であったかは一概には言えないが、掃除後、明らかに肺炎罹患者が激減した。入院者を減らすためにも空調設備の定期的なメンテナンスが必要であるが、現場職員は日々の業務で手一杯の為、フィルターの掃除等の対応方法について検討が必要。
- ・ユニット型に比べ申込件数は多い。従来型の申込希望者に、いずれ従来型に移すことを条件に一旦ユニット型に入所いただいている方がいる。ご家族より面会の度、「いつ頃従来型に移れるのか」と問い合わせをい

ただき対応に苦慮している。条件付きで入所をしていただいた方に対してはある程度の期限を設ける必要があると思われる。

②年間入所者数

	男性	女性	計		男性	女性	計
4月	1名	2名	3名	10月	2名	1名	3名
5月	1名	4名	5名	11月	0名	2名	2名
6月	1名	3名	4名	12月	1名	0名	1名
7月	0名	2名	2名	1月	1名	0名	1名
8月	1名	2名	3名	2月	0名	1名	1名
9月	0名	2名	2名	3月	2名	1名	3名

年間入所者数 30 名

③年間退所者数

	死亡者	長期入院者	その他		死亡者	長期入院者	その他
4月	3名	4名	2名	10月	1名	0名	0名
5月	0名	3名	0名	11月	1名	1名	1名
6月	0名	2名	0名	12月	1名	0名	0名
7月	4名	2名	0名	1月	0名	1名	0名
8月	1名	0名	0名	2月	1名	0名	0名
9月	1名	1名	0名	3月	1名	1名	0名

※「死亡者」は入院中の永眠が主

年間退所者数 32 名

④年間延べ入院者数

4 月	241 名	1 0 月	158 名
5 月	107 名	1 1 月	68 名
6 月	107 名	1 2 月	47 名
7 月	80 名	1 月	110 名
8 月	145 名	2 月	66 名
9 月	275 名	3 月	173 名

2023 年度年間延べ入院者数合計 2,453 人

2024 年度年間延べ入院者数合計 1,577 人（－876 人）

※8 月、9 月に新型コロナ感染者発生。計 4 名が入院。

⑤事故・ヒヤリハット報告件数

4 月	事故	9 件	転倒：4 件 転落：3 件 その他：2 件
	ひやり	6 件	内出血：3 件 その他 3 件
5 月	事故	11 件	転落：3 件 転倒：4 件 外傷：2 件 内出血：1 件 盗食：1 件
	ひやり	15 件	内出血：13 件 転倒：2 件
6 月	事故	17 件	転倒：4 件 転落：4 件 外傷：3 件 盗食：2 件 その他：4 件
	ひやり	8 件	内出血：6 件 転落：2 件
7 月	事故	13 件	転倒：4 件 外傷：2 件 盗食：4 件 異食：1 件 服薬忘れ：1 件 利用者間トラブル：1 件
	ひやり	11 件	外傷・内出血：10 件 転倒：1 件
8 月	事故	14 件	転倒：5 件 転落：1 件 外傷：4 件 異食：2 件 誤薬：1 件 暴力：1 件
	ひやり	13 件	内出血：10 件 転倒：2 件 異食：1 件
9 月	事故	16 件	転倒：3 件 転落：7 件 誤薬：1 件 盗食：3 件 外傷：1 件 異食：1 件
	ひやり	1 件	転倒：1 件
1 0 月	事故	14 件	転倒：5 件 転落：5 件 外傷：2 件 盗食：2 件
	ひやり	8 件	内出血：2 件 転倒：1 件 転落：3 件 服薬忘れ：1 件 利用者間トラブル：1 件
1 1 月	事故	24 件	転倒：10 件 転落：6 件 外傷：4 件 内出血：1 件 その他：3 件
	ひやり	10 件	転落：1 件 内出血：3 件 利用者間トラブル：1 件 その他：5 件

12月	事故	15件	転倒：5件 転落：5件 外傷：4件 誤薬：1件
	ひやり	6件	内出血：4件 転落：1件 徘徊：1件
1月	事故	12件	転倒：3件 転落：3件 外傷：4件 その他：2件
	ひやり	6件	転倒：1件 内出血：3 盗食：2件
2月	事故	28件	転倒：6件 転落：13件 外傷：3件 盗食：2件 異食：1件 暴力行為：1件 誤配膳：1件 利用者間トラブル：1件
	ひやり	15件	内出血：13件 転落：1件 利用者間トラブル：1件
3月	事故	24件	転倒：8件 転落：7件 外傷：5件 暴力：1件 異食：3件
	ひやり	13件	内出血：6件 転落：7件
合計	事故	197件	
	ひやり	112件	

※2024年11月16日に発生した転落骨折事故について、市、県へ報告

※2025年2月6日に発生した転倒骨折事故について、市、県へ報告

※2025年3月6日に発生した転倒外傷事故について、市、県へ報告

⑥会議開催報告

4月	職員全体会議 入浴・環境委員会会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	10月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議 虐待防止身体拘束適正化委員会会議
5月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	11月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議
6月	職員全体会議(書面のみ) 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議 虐待防止身体拘束適正化委員会会議	12月	職員全体会議 リーダー会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議 虐待防止身体拘束適正化委員

			会会議
7 月	職員全体会議(書面のみ) 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	1 月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議
8 月	職員全体会議(書面のみ) 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	2 月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議
9 月	職員全体会議(書面のみ) 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	3 月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議 虐待防止身体拘束適正化委員会会議

⑦当施設のインフルエンザ・感染性胃腸炎・コロナウイルスの面会制限について
2024 年 9 月 2 日（月）より下記の通り面会制限緩和。

直接面会 予約	不要です	入浴等の理由ですぐに面会ができない場合があります。またご本人が体調不良時はご面会をお断りする場合があります。
時間	制限あり	午前中は 9：30～11：00 の間、 午後は 14：00～15：30 の間で 1 回あたり 30 分程度まで。
人数	制限あり	1 度に 4 名程度まで。
場所	制限あり	従来型は本館 2 階食堂 ユニット型は新館 1 階食堂
曜日	制限なし	
頻度	制限なし	
その他	○本館事務所にて面会手続きを行ってもらう。（検温、マスク着用、手指消毒、健康チェック表記入。） ○飲食の提供を希望される場合、事前に職員へ声を掛けてもらう。原則としてその場で食べきる量とする。 ○感染状況により、再び面会が制限、中止となる場合もあり。最新情報は、八千代城ホームページにてお知らせする。	

	八千代城ホームページ http://park3.wakwak.com/~yachiyojou/
--	---

LINE での オンライン面会 ※予約が必要です	水曜日の週 1 日間。 14:00～14:15 (1組) 14:30～14:45 (1組) の 1 日 2 枠、1 回 15 分以内
オンライン面会 予約受付時間	平日 8:30～17:30 ※土日祝日及び時間外は除く ・当日の電話予約は不可、前日までに予約。 ・面会希望日の 2 週間前より予約受付。

※ご家族からのご意見等について

○「ホームページに最新の感染状況が知らされていないではないか。」との問い合わせを何件かいただく。その都度、正確な八千代城ホームページは <http://park3.wakwak.com/~yachiyojou/> とお伝えはしているが、ホームページが 2 つあると紛らわしいので、対処が必要と思われる。
もう一つのホームページについては各部署紹介の写真内容の誤りや料金表も 2019 年から更新されていないなどあり、新規申し込み希望者より、「ホームページを見たが、料金表が古いので最新の料金が知りたい」との問い合わせもある。

⑧オンライン研修実施報告

期間	研修項目	受講率
4 月～6 月	「高齢者虐待防止に関する研修」【1 回目/年 2 回】	95%
	「身体拘束の排除に関する研修」【1 回目/年 2 回】	
	「災害に係る業務継続計画のための研修」	
7 月～9 月	「事故発生又は再発防止に関する研修」【1 回目/年 2 回】	97%
	「感染症に係る業務継続計画のための研修」	
	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」【1 回目/年 2 回】	
10 月～12 月	「高齢者虐待防止に関する研修」【2 回目/年 2 回】	93%
	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」【2 回目/年 2 回】	
	「身体拘束の排除に関する研修」【2 回目/年 2 回】	

1 月～3 月	「褥瘡予防・ケアに関する研修」	95%
	「事故発生又は再発防止に関する研修」【2 回目/年 2 回】	

⑨年間リモート面会実施報告

4 月	0 件	1 0 月	2 件
5 月	0 件	1 1 月	1 件
6 月	0 件	1 2 月	2 件
7 月	1 件	1 月	2 件
8 月	1 件	2 月	2 件
9 月	2 件	3 月	1 件

計 14 件

⑩年間直接面会実施報告（面会者来所人数）

4 月	27 件/（49 名）	1 0 月	59 件/（85 名）
5 月	26 件/（48 名）	1 1 月	64 件/（92 名）
6 月	34 件/（65 名）	1 2 月	82 件/（131 名）
7 月	29 件/（68 名）	1 月	56 件/（96 名）
8 月	17 件/（41 名）	2 月	56 件/（70 名）
9 月	22 件/（27 名）	3 月	73 件/（114 名）

計 545 件/（886 名）

⑪年間行事等実施報告

4 月	お花見ドライブ（佐倉ふるさと 広場） 12 月・1 月・2 月・3 月生 合同誕生日会	1 0 月	9 月・10 月生 誕生日会
5 月	4 月・5 月・6 月生 合同誕生日会	1 1 月	11 月・12 月生 誕生日 会
6 月		1 2 月	クリスマス会
7 月	7 月生 誕生日会	1 月	新年顔合わせ 1 月生 誕生日会

8 月	8 月生 誕生日会	2 月	焼き芋会 2 月生 誕生日会
9 月	敬老会	3 月	3 月生 誕生日会

※焼き芋会におけるさつまいもは寄付によりいただいた物を使用。

※誕生日会は栄養士、調理職員の協力のもと実施。利用者は特別食を大変喜ばれていた。

⑫利用料金の変更について

2024 年 4 月～	介護報酬改定による単位数の変更あり
2024 年 6 月～	新加算「介護職員等処遇改善加算」算定開始 当施設は 6 月より「介護職員等処遇改善加算Ⅲ」を算定中
2024 年 8 月～	居住費負担額の変更あり 利用者負担段階 第 2 段階～第 3 段階 2 の方が対象

※改定内容については家族等にお知らせの手紙を郵送し、同意書を提出いただく。

⑬指導監査について

2024 年 9 月 10 日（火）午前 10 時～午後 4 時

老人福祉法第 18 条、介護保険法第 24 条及び社会福祉法第 70 条の規定による指導監査が実施される。結果、おおむね適正に運営されていると認められる。

○当日、口頭での指導あり

1. 施設内の棚類、テレビの耐震を行うこと
2. ケアハウス避難経路の掲示をフロアー内にすること
3. 感染委員会の実施記録は運営会議実施記録と別に分けること

⑭八千代市介護保険相談員の施設訪問について

○2 か月に 1 回、2 名の相談員が施設訪問されている。

○新型コロナウイルスの影響により、利用者との交流は控えていただき、職員との情報交換のみの対応とさせていただいていた。2024 年 12 月より面会室にて 2～3 名の利用者と直接聴き取りができるよう対応している。

⑮フロー 2024年度反省

2 F	目標を掲げても、達成感はありませんでした。 バスハイクは1度、数回の散歩を実施する程度しかできませんでした。 唯一と言え、月一度の誕生日会は、栄養士・調理職員の協力のもと、利用者の皆様、満喫されていたと思います。 今後はビデオ鑑賞等を行うなど利用者が楽しめる様な企画を検討していきたいとおもいます。
3 F	バスハイク・誕生日会の企画にていつもとは違う雰囲気味わってもらえる事が出来たと思う。 職員の見守りも十分に行っていたが、時間帯により人手不足な事もあり、転倒骨折につながるケースも出てしまった。 利用者に笑顔にて過ごしてもらえよう、声掛けなど気かけられていたかと思う。

⑯反省、問題点等

- 退職者が増え、現場は厳しい状況である。職員の補充が急務である。
- 給与、賃金面での退職者が増えている。
- 仕事内容の不平等を訴えてくる職員が増えている。
- 派遣職員が無断欠勤し、連絡がつかなくなることがあった。
- 派遣職員の就業期間終了後の補充の動きが遅い。
- 特定技能外国人の受け入れを開始しているが、目標が明確化されておらず、指導する現場職員が困惑している面も見受けられた。
- 12月より通勤に利用している路線バス運行時間の変更・減便あり。夜勤明けのバス通勤職員を、社用車で駅まで送迎している。今後、更なる減便等の可能性がある。
- 9月より排泄用パット類の業者を変更。今後、布おむつを止め、紙おむつに移行していくかについては協議中。
- 職員配置に余裕がなく、手の込んだ企画行事は困難。
- 職員研修はオンライン研修で実施し、基準上必要な研修はすべてオンライン研修にて実施。受講率が下がらぬよう、今後も受講開始、終了日時を周知させる対応が必要。
- 「感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する訓練」「感染症及び災害に係る業務継続計画のための訓練」「非常災害対策に関する訓練」「口腔衛生に関する研修」の充実した内容の計画が必要である。
- 11月、講師を招いての「認知症に関する研修会」を実施。業務の都合上、外部研修への参加が難しくなっているため、こういった取り組みを増やしていきたい。
- 2月、職員から「救命講習を受講したい」と希望が上がったため、救命救急講習を八千代消防本部に依頼。日にちを分けてグループごとに受講する。

- ナースコールの壊れた箇所の部品で、型が古く製造中止となっている物があり、修理が困難な状況がある。また、居室ベッドやマットも老朽化してきている為、入れ替えを検討していただきたい。
- 新規の入所者様でスマートフォンの持ち込みを希望される方が増えてきているが、従来型は預かり禁止としている。今後持ち込み希望利用が増える可能性が高い。
- マイナンバーカードの当施設での取り扱いについて検討の必要がある（医療被保険者証を紐付けしている方、していない方（資格確認書）の保管場所等について・医療機関への保険証の提出方法について等）

2. ショートステイについて

①延べ利用者数及び稼働率（空床利用のみ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	121人	107人	82人	63人	65人	62人
稼働率						

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	93人	60人	90人	65人	62人	32人
稼働率						

※職員不足の為、現在も空床利用のみとなっている。確実な日程が組めないの
で、調整が難しい。

ユニット型特別養護老人ホーム八千代城

1. 延べ入居者数及び稼働率

(介護報酬算定実施人数による。入院者・外泊者等除く。含む措置)

現在 30 床のみ稼働中

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延べ利用者数	729 人	744 人	739 人	804 人	815 人	769 人
稼働率	81.0%	80.0%	82.1%	86.5%	87.6%	85.4%

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	843 人	781 人	874 人	849 人	756 人	768 人
稼働率	90.6%	86.8%	94.0%	91.3%	90.0%	82.6%

※稼働率は 30 床で計算

2023 年度年間平均稼働率 82.2% 2024 年度年間平均稼働率 86.5%

(+4.3%)

昨年度に比べ、年間延べ入院者数の減少が稼働率向上につながった

2. 年間入所者数

	男性	女性	計		男性	女性	計
4 月	0 名	1 名	1 名	10 月	0 名	0 名	0 名
5 月	0 名	0 名	0 名	11 月	0 名	2 名	2 名
6 月	1 名	1 名	2 名	12 月	0 名	0 名	0 名
7 月	2 名	0 名	2 名	1 月	0 名	0 名	0 名
8 月	1 名	0 名	1 名	2 月	0 名	1 名	1 名
9 月	1 名	0 名	1 名	3 月	0 名	2 名	2 名

3. 年間死亡・長期入院等による退所者数

	死亡者	長期入院者	その他		死亡者	長期入院者	その他
4 月	0 名	1 名	0 名	10 月	0 名	0 名	0 名
5 月	1 名	0 名	0 名	11 月	0 名	0 名	0 名
6 月	0 名	0 名	0 名	12 月	0 名	1 名	1 名
7 月	0 名	1 名	0 名	1 月	1 名	0 名	0 名
8 月	1 名	0 名	0 名	2 月	0 名	0 名	0 名
9 月	0 名	0 名	0 名	3 月	0 名	1 名	0 名

4. 年間延べ入院者数

4 月	24 名	10 月	25 名
5 月	8 名	11 月	84 名
6 月	22 名	12 月	26 名
7 月	31 名	1 月	19 名
8 月	24 名	2 月	24 名
9 月	42 名	3 月	83 名

計 412 名

※5 月に 4F 入居者に新型コロナ感染者 5 名発生するも入院せず施設内療養。

5. 事故・ヒヤリハット報告件数

4 月	事故	4 件	転倒：4 件
	ひやり	5 件	転落：1 件 怪我：1 件 誤飲：1 件 内出血：1 件 火傷：1 件
5 月	事故	6 件	転倒：4 件 転落：件 服薬確認ミス：1 件 外傷：1 件
	ひやり	0 件	
6 月	事故	5 件	転倒：3 件 外傷：1 件 異食：1 件
	ひやり	0 件	
7 月	事故	9 件	転倒：5 件 外傷：1 件 服薬確認ミス：3 件
	ひやり	0 件	
8 月	事故	8 件	転倒：5 件 転落：1 件 服薬確認ミス：2 件
	ひやり	1 件	誤飲：1 件
9 月	事故	7 件	転倒：3 件 服薬確認ミス：4 件
	ひやり	0 件	
10 月	事故	2 件	転倒：2 件
	ひやり	0 件	
11 月	事故	5 件	転倒：5 件
	ひやり	2 件	転倒：2 件
12 月	事故	5 件	転倒：2 件 転落：2 件 服薬確認ミス：1 件
	ひやり	0 件	
1 月	事故	6 件	転倒：2 件 転落：1 件 服薬確認ミス：3 件
	ひやり	2 件	転倒：2 件
2 月	事故	2 件	転倒：1 件 服薬確認ミス：1 件
	ひやり	0 件	

3月	事故	7件	転倒：2件 転落：1件 外傷：1件 服薬確認ミス：3件
	ひやり	0件	
合計	事故	66件	
	ひやり	10件	

※2024年12月9日に発生した転落裂傷事故について、市、県へ報告

6. 会議開催報告

4月	4Fフロア会議 3Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会 会議 運営会議 衛生委員会	10月	3Fフロア会議 4Fフロア会議 事故対策委員会会議 運営会議 衛生委員会
5月	3Fフロア会議 4Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会 会議 運営会議 衛生委員会	11月	3Fフロア会議 4Fフロア会議 事故対策委員会会議 運営会議 衛生委員会
6月	3Fフロア会議 4Fフロア会議 身体拘束適正化委員会 会議 事故対策委員会会議 運営会議 衛生委員会	12月	3Fフロア会議 4Fフロア会議 身体拘束適正化委員会 会議 事故対策委員会会議 運営会議 衛生委員会
7月	3Fフロア会議 4Fフロア会議 事故対策委員会会議 運営会議 衛生委員会	1月	3Fフロア会議 4Fフロア会議 事故対策委員会会議 運営会議 衛生委員会
8月	3Fフロア会議 4Fフロア会議 事故対策委員会会議 運営会議 衛生委員会	2月	3Fフロア会議 事故対策委員会会議 運営会議 衛生委員会

9 月	3 F フロア 会議 4 F フロア 会議 身体拘束適正化委員会 会議 運営会議 衛生委員会	3 月	3 F フロア 会議 4 F フロア 会議 身体拘束適正化委員会 会議 事故対策委員会 会議 運営会議 衛生委員会
-----	---	-----	---

7. 当施設のインフルエンザ・感染性胃腸炎・コロナウイルスの面会制限について
2024 年 9 月 2 日（月）より下記の通り面会制限緩和。

直接面会 予約	不要です	入浴等の理由ですぐに面会ができない場合があります。またご本人が体調不良時はご面会をお断りする場合があります。
時間	制限あり	午前中は 9：30～11：00 の間、午後は 14：00～15：30 の間で 1 回あたり 30 分程度まで。
人数	制限あり	1 度に 4 名程度まで。
場所	制限あり	従来型は本館 2 階食堂 ユニット型は新館 1 階食堂
曜日	制限なし	
頻度	制限なし	
その他	○本館事務所にて面会手続きを行ってもらう。（検温、マスク着用、手指消毒、健康チェック表記入。） ○飲食の提供を希望される場合、事前に職員へ声を掛けてもらう。原則としてその場で食べきる量とする。 ○感染状況により、再び面会が制限、中止となる場合もあり。最新情報は、八千代城ホームページにてお知らせする。 八千代城ホームページ http://park3.wakwak.com/~yachiyojou/	

LINE での オンライン面会 ※予約が必要です	水曜日の週 1 日間。 14：00～14：15 （1 組） 14：30～14：45 （1 組） の 1 日 2 枠、1 回 15 分以内
オンライン面会 予約受付時間	平日 8：30～17：30 ※土日祝日及び時間外は除く ・当日の電話予約は不可、前日までに予約。 ・面会希望日の 2 週間前より予約受付。

※ご家族からのご意見等について

「ホームページに最新の感染状況が知らされていないではないか。」との問い

合わせを何件かいただく。その都度、正確な八千代城ホームページは
<http://park3.wakwak.com/~yachiyojou/> とお伝えはしているが、ホームページが2つあると紛らわしいので、早急に対処が必要。もう一つのホームページは各部署紹介の写真内容の誤りや料金表が2019年から更新されていない等の点があり、新規申し込み希望者より、「ホームページを見たが、料金表が古いので最新の料金について知りたい」との問い合わせがあったこともある。

8. オンライン研修実施報告

期間	研修項目	受講率
4月～6月	「高齢者虐待防止に関する研修」【1回目/年2回】	100%
	「身体拘束の排除に関する研修」【1回目/年2回】	
	「災害に係る業務継続計画のための研修」	
7月～9月	「事故発生又は再発防止に関する研修」【1回目/年2回】	100%
	「感染症に係る業務継続計画のための研修」	
	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」【1回目/年2回】	
10月～12月	「高齢者虐待防止に関する研修」【2回目/年2回】	91.6%
	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」【2回目/年2回】	
	「身体拘束の排除に関する研修」【2回目/年2回】	
1月～3月	「褥瘡予防・ケアに関する研修」	100%
	「事故発生又は再発防止に関する研修」【2回目/年2回】	

9. 年間リモート面会利用実施報告

4月	0件	10月	0件
5月	0件	11月	0件
6月	0件	12月	0件
7月	0件	1月	0件
8月	0件	2月	0件
9月	0件	3月	0件

計0件

10. 年間直接面会利用実施報告（面会者来所人数）

4月	11件/27名	10月	29件/46名
5月	1件/1名	11月	28件/52名
6月	9件/17名	12月	33件/53名
7月	9件/14名	1月	29件/50名
8月	12件/22名	2月	20件/34名
9月	27件/41名	3月	19件/26名

計 227 件/383 名

11. 年間行事等実施報告

6月	外出 佐倉チューリップフェスタ
5月	4月・5月・6月生まれ入居者合同誕生日会（3F・4F）
7月	7月・8月・9月生まれ入居者合同誕生日会（4F）
9月	敬老会・7月・8月・9月生まれ入居者合同誕生日会（3F） 八千代市長来苑 敬老訪問（100歳の方お祝い）
10月	10月・11月・12月生まれ入居者合同誕生日会（3F・4F）
1月	新年顔合わせ
2月	1月・2月・3月生まれ入居者合同誕生日会（3F・4F）・焼き芋会

※やきいも会は好評いただく。さつまいもは寄付によりいただいた物を使用。

12. 利用料金の変更について

2024年4月～	介護報酬改定による単位数の変更あり
2024年6月～	新加算「介護職員等処遇改善加算」算定開始 当施設は6月より「介護職員等処遇改善加算Ⅲ」を算定中
2024年8月～	居住費負担額の変更あり 利用者負担段階 第2段階～第3段階2の方が対象

※改定内容については各家族等にお知らせのお手紙を郵送し、同意書を提出いただく。

13. 指導監査について

2024年9月10日（火）午前10時～午後4時

老人福祉法第18条、介護保険法第24条及び社会福祉法第70条の規定による指導監査が実施される。結果、おおむね適正に運営されていると認められる。

○当日、口頭での指導あり

1. 施設内の棚類、テレビの耐震を行うこと
2. 感染委員会の実施記録は運営会議実施記録と別に分けること

14. 八千代市介護保険相談員の施設訪問について

- 2か月に1回、2名の相談員が施設訪問されている。
- 新型コロナウイルスの影響により、利用者との交流は控えていただき、職員との情報交換のみの対応とさせていただいていたが、2024年12月より面会室にて2～3名の利用者と直接聴き取りができるよう対応している。

15. 各フロア2024年度反省

3 F	多忙、人手不足の中でも、皆、少し時間が出来れば入居者を散歩にお連れしたり、合唱会・塗り絵等のレクを実施した。誕生日会や敬老会等、行事にも熱心に取り組む事ができた。 問題点は、他フロアとの合同、他部署からの協力を必要とする行事で、連絡の不足や遅れにより喰い違いやトラブルが度々生じてしまった事である。他のフロアや他部署への報連相を密に迅速に行って行かなければならない。
4 F	○職員間の連携を取ろうと努力する職員は、ほぼ決まっている。受け身で、ただ情報等を聞いているだけでは連携につながらない。 ○個人課題のPDCAサイクルが難しく（理解不足） 2023、2024年で思った以上に進捗状況が悪かった。

16. 反省、問題点等

- 退職者が増え、現場は厳しい状況である。職員の補充が急務である。
- 給与、賃金面での退職者が増えている。
- 派遣職員の就業期間終了後の補充の動きが遅い。
- 今後ICT化が必要との事で業者から説明を受けたが、予算の関係もあり進行できていない。
- 特定技能外国人の受け入れを開始しているが、目標が明確化されておらず、指導する現場職員が困惑している面も見受けられた。
- 12月より通勤に使用している路線バスの運行時間の変更・減便あり。夜勤明けのバス通勤職員を、社用車で駅まで送迎している。今後、更なる減便等の可能性がある。
- 職員研修はオンライン研修で実施し、基準上必要な研修はすべてオンライン研修にて実施。受講率が下がらぬよう、今後も受講開始、終了日時を周知させる対応が必要。
- 「感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する訓練」「感染症及び災害に係る業務継続計画のための訓練」「非常災害対策に関する訓練」「口腔衛生に関する研修」の充実した内容の計画が必要である。
- 2020年2月より2Fフロアを閉鎖継続中
- 現在運用していない新館1F・2Fで下水臭あり。定期的に流水及び換気が必要

な状況である。

- 各居室のカーテンレールランナーが紫外線により劣化し、次々割れてしまっているため、ほとんどの居室のカーテンレールランナーの交換が必要となっている。
- 9月より排泄パット類の業者を変更。今後、布おむつを止め、紙おむつに移行していくかについては協議中。
- 職員人数に余裕がなく、外出行事等の企画が立てられていない
- 従来型入所希望で申し込みをしていた方が、いずれ従来型に移るということを条件にユニット型に入居いただいている方がいる。ご家族より「いつ頃従来型に移れるのか」と問い合わせがある。
- 身体的拘束ゼロを継続中。
- 11月、講師を招いての「認知症に関する研修会」を実施。業務の都合上、外部研修への参加が難しくなっているため、こういった取り組みを増やしていきたい。
- 2月、職員から「救命講習を受講したい」と希望が上がったため、救命救急講習を八千代消防本部に依頼。日にちを分けてグループごとに受講する。
- 新規の入居者でスマートフォンの持ち込みを希望される方が増えてきている。持ち込まれる前に確認事項の説明を行い、お預かりしている。
- マイナンバーカードの当施設での取り扱いについて協議の必要あり。医療被保険者証を紐付けしている方、していない方（資格確認書）の保管場所等について、医療機関への保険証の提出方法等検討が必要である。

八千代城デイサービスセンター

1. 稼働状況（別紙あり）

延べ利用者数	営業日数	1日平均利用者数	年間稼働率	平均介護度
3938 名	308 日	12.8 名	71.0%	1.8
利用者件数（R7.3月現在）		事故件数	苦情件数	新規件数
30 件		1 件	1 件	21 名
ヒヤリハット				
5 件				

○今年度は、延べ利用者数、稼働率、1日平均利用者数は、大幅に増加する。
永眠、長期入院、施設入所となる利用者も多く見られたが、利用廃止となった利用者数は、15名であった。昨年度より廃止数は減少する。

○新規受け入れ利用者は、21名であり、昨年度よりも大幅に増加する。5月のみ受け入れがなかったが、6月8名、その他の月は、1～3名と受け入れる事ができた。

○令和7年.3月までの年間受け入れ状況は、下記の通りである。

在宅介護支援センター八千代城受け入れ件数⇒19件（昨年度よりも微増）
他事業所（要支援者含む）受け入れ件数⇒26件（昨年度と同じ）

リピートしてくれる他事業所が多くなった。他事業所のケースとして、老々介護の世帯、一人暮らしの高齢者世帯の依頼が多くみられている。特に、認知症の一人暮らしの依頼が多い。次年度も、地域包括支援センターや他事業所へのPRとして、一人暮らしの利用者や老老世帯等ちょっとした生活サポートをしていく事をケアマネへ伝えて、新規利用者獲得につなげていく。

○八千代城デイサービスを利用している他事業所のケアマネージャーとは定期的に顔を合わせて情報共有をし、ケアマネと顔なじみの関係が構築出来ていたが生活相談員が退職した為、次年度は新たな生活相談員が、定期的に他事業所へ営業し、顔なじみの関係性を構築し新規利用者の受け入れていく必要がある。また、現在関わりのない事業所へもFAXをしているが、効果は見られないが、次年度も継続して対応していく。

2. 活動状況

○Facebookの更新をしているが、定期的には対応できなかった。更新頻度が低いため検索数が、横ばいである。次年度、Facebookの継続や内容を含め検討する。

○2018年秋より、デイサービスの新聞を作成していたが、業務多忙により今年度も発行することができなかった。印刷方法、新聞のサイズ、内容を変更し発行していく事を、次年度は検討していく。

○事故 1 件

1 件目：デイサービスの廊下で転倒。左股関節から下肢にかけて痛みの訴えがあり救急搬送。左大腿骨転子部骨折し入院となる。八千代市へ事故報告書を提出する。

○苦情 1 件

1 件目：ご家族より、連絡ノートに「履いていた靴が無くなったので、至急確認を取って欲しい」と記載あり。連絡ノートにて返信をしたが、ケアマネージャーより、ご家族が当事業所からの報告の電話を待っていたと連絡があり。ご家族へ連絡し謝罪と靴の件を報告する。ご家族も本人の話に対して半信半疑であり、当事業所利用中の様子を知りたかったとの事。一人暮らしでありご家族も定期的に生活の様子を見に行けない状況であり、連絡ノートの記載だけでなくご家族へ連絡をする必要があった。

○ヒヤリハット 5 件

1 件目：トイレまで職員が付き添いをしていた。その後、トイレの中では一人で行くが、その際によろけて転倒し尻もちをついてしまう。左肩に痛みがあり湿布を貼り様子を見ていたが、その後は特に変わりなく過ごされた。ご家族に連絡し謝罪する。歩行が不安定な利用者な為、トイレの手すりまで一緒に付き添って対応していく必要があった。

2 件目：デイルームから正面玄関まで行く所を様子見ていた。玄関からデイルームへ戻ろうとした際に段差につまずき、右側に転倒してしまう。自力で立上がりデイルームへ戻る。右膝下にすり傷による皮むけあり消毒し処置する。その後、痛みもなく過ごされた。ご家族へ謝罪をする。職員の見守りする位置が離れており、また、危険を感じる前に早めに声かけをする必要があった。

3 件目：移動中に足が座席にぶつかり転んでしまう。転んだ時に左腕で身体を支えていた為、左手首に痛みあり。その他は特に打撲、痛みはなく。その後、左手首の痛みは取れる。ご家族へ謝罪をする。物が置いてある場所への移動時は、障害物などないか確認していく必要があった。

4 件目：帰りの送迎時、手を繋いで利用者同士歩行しており、一人が違う方向を向いてしまい、バランスを崩した際、職員が傍にいるが、ゆっくりと尻もちをついてしまう。尻もちをついた直後、左臀部の痛みがあったがその後消失する。ご家族に謝罪する。尻もちをついた利用者は、靴の踵を踏んで歩いていた為、靴の踵を踏んでいないか確認する必要があった。

5 件目：徘徊する利用者を職員が確認していたが、廊下にいると思っていたが

おらず、特養2階の職員より連絡があり、利用者が2階の出入り口をノックした為、中に入ってもらった。デイサービス職員が迎えに行く。職員間での声かけが出来ておらず、利用者の所在確認をしながら、職員間で声かけをしていく。

認知症のある利用者が増えており、認知症の理解と対応方法を再度、研修をしていく必要がある。

日によって、利用者の体調も変化が見られるため、状況に合わせた対応が必要であり苦情について、事故対策等、定期的な研修を行っていく。

○令和6年度 年間行事・外出報告

4月	花見ドライブと春さがし週間	10月	おやつ外出
5月	買い物外出	11月	おやつ外出
6月	お取り寄せスイーツ	12月	クリスマス会
7月	夏祭り	R7年 1月	飯綱神社代行参りと新春ゲーム
8月	八千代城ハワイアンセンター	2月	お取り寄せスイーツ
9月	敬老会	3月	買物ツアー

- ・施設内行事：今年度より定期的なボランティアの受け入れを再開し、次年度も継続していく。次年度は、夏祭りを再開したりして、行事もマンネリ化しないようにする必要がある。
- ・外出行事：今年度は、外出する行事として買い物やおやつ外出をすることが出来た。おやつ外出は、4年ぶりであり、猫型ロボットの配膳車を見て利用者の方々は喜んでいて、初詣も予定していたが、インフルエンザが流行した為、今年度も代行となった。少しずつコロナ前の状況に行事を戻すことが出来てきている。

○新型コロナウイルス感染予防対策】

(デイルーム内)

- ・利用者のマスク着用⇒継続
- ・アクリルパネルの設置（令和7年5月で廃止予定）
- ・デイルーム内に入る前に、手指消毒を設置⇒継続
- ・利用者帰苑後、テーブル・椅子・アクリルパネルの消毒⇒継続

(送迎車)

- ・業務終了後、手すり等にハイター消毒と座席シートの消毒⇒継続

○運営推進会議

今年度は、運営推進会議を開催した。

阿蘇包括職員・保品地区民生委員、介護相談員へ利用状況と活動状況を報告する。

令和 6 年 8 月 21 日：利用状況と活動状況を報告

令和 7 年 2 月 26 日：利用状況と活動状況を報告

○実習生受け入れ

①介護等体験実習大学生（令和 6 年 7 月 31 日～令和 7 年 11 月 3 日）

- ・受け入れ学生総数：6 名 延べ体験日数：30 日
- ・新型コロナウイルス感染予防として、実習生には、ワクチン接種の確認と実習期間開始 2 週間前から、症状チェック表の記載をしてもらい受け入れを行った。実習中についてはマスク着用・手指消毒を行った。
- ・次年度も、実習生を受け入れて、収入を確保する。

②社会福祉士取得 実習生 2 名受け入れ

令和6年度 八千代城デイサービスセンター利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	12	10	7	15	14		14	14			12	11
2	12	8		9	14	12	15	13	16			
3	11	12	10	14	10	11	13		16		18	13
4	9	7	9	13		10	15	18	14	18	18	15
5	13		12	12	16	10	13	15	16		13	14
6	10	9	9	9	10	6		17	12	18	14	11
7		12	11		15	6	15	14	13	17	12	14
8	11	10	8	17	13		14	15		13	13	13
9	13	8		8	15	10	14	14	16	15		
10	11	12	10	16	11	11	14		16	14	18	13
11	7	7	8	13		12	14	18	14	13	18	15
12	13		13	13	16	13	14	18	14		14	15
13	10	9	11	9	10	14		14	13	18	14	11
14		10	12		12	12	15	15	12	18	12	13
15	10	10	10	15	8		16	14		14	9	13
16	11	7		10	12	16	15	13	15	15		
17	10	12	12	16	11	12	11		16	13	18	15
18	8	7	10	14		14	16	17	13	13	17	14
19	12		13	12	16	14	12	16	14		13	15
20	7	9	10	10	12	13		16	13	17	14	12
21		11	12		13	13	16	13	14	17	13	12
22	10	10	11	16	12		14	14		13	9	14
23	12	8		10	14	16	16	10	16	13		
24	10	11	11	14	12	13	14		16	11	17	14
25	9	9	10	12		15	13	16	14	11	16	16
26	12		12	10	16	12	12	16	13		13	13
27	9	9	12	10	11	14		13	14	17	12	13
28		10	12		11	14	16	13	14	17	12	14
29	10	11	10	16	16		14	15		13		12
30	12	8		9	13	16	14	12		11		
31		12		14	12		14			13		15
合計	274	258	265	336	345	309	383	383	344	352	339	350
地域密着	266	245	253	322	337	306	375	379	330	336	323	333
総合	5	4	4	5	4	3	8	4	14	16	16	17
事業対象者	3	9	8	9	4	0	0	0	0	0	0	0
平均	10.54	9.556	10.6	12.44	12.78	12.36	14.19	14.73	14.33	14.67	14.13	13.46
最大値	13	12	13	17	16	16	16	18	16	18	18	16
最小値	7	7	7	8	8	6	11	10	12	11	9	11
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26
実可動人数	23	21	28	33	32	31	32	32	33	33	33	28
稼働率	58.5%	53.1%	58.9%	69.1%	71.0%	68.7%	78.8%	81.8%	79.6%	81.5%	78.5%	74.8%
平均介護度	2	2	2.1	2	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8

年間合計人数
3938
年間1日平均人数
12.8
年間平均稼働率
71.0%
営業日数
308
平均介護度(要支援も含む)
1.0

グループホーム悠々やちよ

1. 稼働と介護報酬の状況

	延入居者	稼働率	収入額
令和5年度	3,154人	95.69%	43,147,964円
令和6年度	3,285人	99.39%	45,263,468円

稼働

稼働目標 95% 稼働実績 95.69%

介護報酬

目標金額 30,230,000円 実績金額 31,793,257円

2. 入居申し込み等の状況

6名の申込に対し2名の入居契約

相談・問い合わせは22件

3. 入居者の状況

①入退居

退居3名

退居先	退居理由
併設特養	経済的負担軽減の為
老健	医療管理の為
居宅（家族宅）	市外施設入所準備の為

入居2名

②面会・行事等

新型コロナウイルス感染症が感染症法5類に移行後は、感染対策に留意しながら、ご家族との面会、外出・外泊を行っていただいた。外食行事など地域へ出かける機会を企画・実行した。

新型コロナ及びインフルエンザなどの感染症クラスター発生無し。

4. 事故・苦情

事故発生件数

転落・転倒	物損	暴力を伴うトラブル	誤薬・落薬	その他	合計
11	1	1	2	1	16

※行政への事故報告…0件

苦情件数…0件

5. 職員の状況

3月末時点で介護職員数は常勤兼務1名、常勤専従3名、非常勤6名であり概ね必要な出勤数を維持できている。日勤、早番、遅番、夜勤の交代のシフトもできている。常勤職員、非常勤職員共に有休休暇で休むこともできている。

6. 運営推進会議

対面方式

1回	2回	3回	4回	5回	6回
4/24	6/26	8/21	10/23	12/18	2/26

7. 八千代市実地指導

八千代市実地指導なし。

8. 外部評価

令和7年2月21日 依頼先：NP0 法人コミュニティケア街ねっと
実施方式：訪問調査

9. 実習生受入

社会福祉士養成 2名

10. 働き方改革等

働く者の心と体の健康が守られることで入居者に良質なサービス提供が提供でき安定した雇用を維持できるような「魅力ある職場づくり」を目指した活動行い、ハラスメント、交通安全、受動喫煙の問題など様々なテーマに取り組みを継続している。

11. 職員研修

下記事業計画に基づき各自オンラインで研修を受講

令和6年度グループホーム悠々やちよ所内研修

月	研修項目	
4	業務継続計画（自然災害等）について	
5	認知症に関する研修	
6	認知症ケアに関する研修【1回/年2回】	高齢者虐待防止に関する研修【1回/年2回】
7	認知症ケアに関する研修【2回/年2回】	
8	倫理及び法令遵守に関する研修	
9	接遇に関する研修	
10	業務継続計画（感染症）について	
11	高齢者虐待に関する研修【2回/年2回】	身体拘束廃止に関する研修【2回/年2回】
12	介護現場で気をつけたいプライバシー保護①	感染症拡大防止に関する研修【2回/年2回】
1	介護現場で気をつけたいプライバシー保護②	
2	医療に関する教育、研修	
3	事故発生又は再発防止に関する研修	

12. 身体拘束廃止検討会議

1回	2回	3回	4回
4/1	7/1	10/7	1/7

13. 虐待防止会議

1回	2回	3回	4回
5/7	8/5	11/5	2/4

14. 感染症対策会議

1回	2回	3回	4回
6/3	9/2	12/2	3/3

15. 消防・避難訓練

2回/年 実施（併設特養・ケアハウスと合同）

16. その他訓練

- ・ 業務継続計画に伴う訓練
- ・ 大規模停電想定時訓練…5/27
- ・ 火災時想定時訓練…1/15

ケアハウス青空

◎月末日稼働率

(令和6年4月1日から令和7年3月15日)

	末日人数		末日人数
令和6年4月 93.3%	14名	令和6年10月 93.3%	14名
令和6年5月 93.3%	14名	令和6年11月 93.3%	14名
令和6年6月 93.3%	14名	令和6年12月 86.6%	13名
令和6年7月 86.6%	13名	令和7年1月 93.3%	14名
令和6年8月 86.6%	13名	令和7年2月 93.3%	14名
令和6年9月 86.6%	13名	令和7年3月 93.3%	14名

年間平均稼働率 91% 年間退居者数 4名

◎行事・クラブ活動について

クラブ活動として、天気の良い日の散歩クラブ、施設内で実施している工作クラブを週に2回実施。工作クラブでは壁面紙工作や季節の作品を入居者とともに作成。

居室内の閉じこもり防止や、入居者同士の交流の機会を増やすため、レクやクラブ活動、企画行事を積極的に行う。また、介護予防として毎日、午前・午後と元気体操を行っており、第2・第4水曜日はリズム体操を3参加希望者を募り行った。

行事等実施報告

4月	買物ツアー（2回）棒体操	お花見外出
5月	買物ツアー（2回）棒体操	菖蒲湯
6月	買物ツアー（2回）棒体操	紫陽花散策
7月	買物ツアー（2回）棒体操	七夕
8月	買物ツアー（2回）棒体操	おやつの日
9月	買物ツアー（2回）棒体操	敬老会 歯科講座（保健センター来苑）
10月	買物ツアー（2回）棒体操	入居者健康診断（市健診）
11月	買物ツアー（2回）棒体操	外出行事（美術展・八千代市民ギャラリー）
12月	買物ツアー（2回）棒体操	冬至（柚子湯） クリスマス会
1月	買物ツアー（2回）棒体操	新年顔合わせ（昼食：行事食） 初詣
2月	買物ツアー（2回）棒体操	節分（昼食：恵方巻）
3月	買物ツアー（2回）棒体操	お花見散歩 外出行事（昼食：はな膳外食）

◎感染症対策について

施設内でのインフルエンザ・コロナウイルス等感染症について、令和 6 年インフルエンザ陽性者 0 名、令和 6 年 8～9 月利用者のコロナ陽性者 2 名あり、感染症での入院者は 0 名。各居室での療養となるが、大きく広がることなく収束する。
今後も感染症対策として、こまめな換気や手すり等、職員・入居者共に触れることの多い箇所の消毒、入居者の体調管理を行い、感染症が蔓延しないよう徹底する。

◎入居者確保について

令和 5 年 8 月より生活保護受給者の受け入れを開始。（令和 7 年 3 月現在 3 名入居中） 年度中満床直前までいくも退居者が生じる状況が続くも、令和 7 年 4 月に新規入所者 1 名あり 15 床満床となる。ただし、在宅復帰を検討している入居者が 1 名おり、令和 7 年 6 月末頃退居予定となっている。次年度も 15 床満床継続に向けて、見学対応や関係機関との連携、外部施設紹介会社に施設の紹介を依頼することなどと合わせてインターネット広告等にも施設の情報及び空室情報を掲載し、入居者の募集を積極的に行う。

◎病院受診の送迎について

入居者の定期受診及び定期受診以外の診療科利用も増えているため、職員業務上支障がない場合に限り、病院受診送迎サービスを実施した。

◎居宅介護サービスの利用について

入居中の方で、家事援助および介助の必要な方が必要なサービスを利用できるよう、居宅サービス関連機関、入居者のご家族等と連携を図り、利用者本人や本人の ADL などに応じて、必要な介護サービスをケアハウス内で提供し、快適な生活が送れるよう支援に努めました。

○訪問介護サービス利用状況

利用入居者数 男性 0 名 女性 5 名

提供事業所

- ・ 在宅介護センターてまり ・ ヘルパーステーションはなみずき
- ・ パールケア ・ 訪問介護サービス八千代

○デイサービス利用状況 （令和 7 年 3 月現在）

7 名利用中

・ 八千代城デイサービスセンター利用状況（令和 7 年 3 月現在）

月曜日 1 名 火曜日 2 名 水曜日 1 名 木曜日 1 名 金曜日 1 名 土曜日 2 名

・ 外部デイサービス利用状況 （令和 7 年 3 月現在）

月曜日 0 名 火曜日 3 名 水曜日 0 名 木曜日 3 名 金曜日 0 名 土曜日 1 名

◎問題点

- ・入居者が増えたこともあり、入居者同士のトラブルが増えてきている。
都度、職員が介入し対応する。
- ・接遇見直しのため、職員研修を定期的に行う必要がある。

八千代市在宅介護支援センター八千代城

1. 受け入れ件数（総合事業含む）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
36 件	36 件	44 件	53 件	53 件	60 件
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
57 件	59 件	57 件	58 件	58 件	55 件

今年度より介護支援専門員が2名体制となる。地域包括支援センターからのケース紹介や退職するケアマネの引継ぎケースが多くあるが、新規受け入れが1ヵ月に2～3件であり、2名体制になるが想定した程件数を伸ばすことが出来なかった。加算は、初回加算算定するが、他の加算の算定は出来なかった。次年度は、受け入れ件数を増やし目標数値を達成できるようにしていきます。

認定調査については、八千代市や他市町村からの受け入れを82件行った。認定調査は、定期的な依頼が多く、収入面でも加算を算定していない部分を補う事ができる為、次年度も積極的に受け入れを行います。

2. 研修等

定期的に研修会参加し、地域交流やケアマネジメントの質を確保することができた。各職種との連携や研修内容を学ぶことにより、日頃の業務に活かすことができた。

参加研修

- ・八千代市地域包括支援センター主催ケアマネジメントの研修会
- ・八千代市地域ケア会議
- ・やちよ・ケアマネネットワーク主催研修会
- ・ひまわり司法書士法人研修会
- ・千葉県高齢者虐待防止対策研修
- ・八千代市在宅医療・介護連携支援センター研修
- ・ちば地域密着ケア協議会
- ・通所・訪問リハビリテーション報告会と懇親会

次年度も、地域包括支援センター主催の研修やケアマネジメント質を確保するための研修会へ参加していきます。

3. その他

○ 苦情件数 1件

（1件目）家族が来苑する。（令和6年1月にも同内容の苦情あり）

平成28年に担当していたケアマネージャーと、一人暮らしをしていた弟の部屋の鍵の返却等のやり取りがうまく対応しておらず、担当が外れても、今まで気持ちの面で腑に落ちておらず、年に1回程度は来苑され話をしているケースであり、家族も理解はしてくれているが、話を聞いてもらいたい様子である。引き続き来苑時等には対応を行います。

○次年度も、事業所の目標数値達成を目指し、着実なケアマネマネジメント業務に努めるとともに、安定した経営が保てるように努めます。